

# ひびき

教育目標「なかよく かしこく たくましく」

一人一人が大切にされる学校・風通しのよい学校ー  
多治見市立共栄小学校 R6.5.29

## コミュニティ・スクール元年がスタートしました！

ー地域・保護者・学校が同じ方向を向いて子どもたちを育てていけるとよいですー

共栄小学校長 加藤 隆史

今年度より本校はコミュニティ・スクールとしてスタートしました。コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会という組織が設置された学校のことをいいます。

その第1回目の学校運営協議会本部会を5月17日(金)に行いました。まずは子どもたちの授業の様子を参観していただきました。その後、学校からは現在の学校や児童の様子について報告をしたり、重点方針について説明したりして、今年度の学校経営について承認をしていただきました。今年度の学校運営協議会の委員の皆様は以下の通りです。



運営協議会本部会 委員	役職等
会長 河村 昌孝様	共栄地区有識者(令和5年度 20区 区長)
副会長 加藤 洋司様	共栄地区青少年まちづくり市民会議会長
副会長 宮嶋 暁様	共栄児童館 館長
委員 松本 芳明様	20区(高田)区長
委員 若尾 明好様	21区(小名田)区長
委員 東山 澄枝様	49区(東山)区長
委員 大宮 寿枝様	共栄校区主任児童委員
委員 河地 隆様	共栄地区青少年まちづくり市民会議推進員
委員 福井 寛様	多治見市学童保育教育相談員
委員 水田 康弘様	前年度(令和5年度)PTA 会長
委員 滝上 吉信	令和6年度 PTA 会長

コミュニティ・スクールになって「何か大きく変わるのだろうか。」と思われるかもしれませんが、学校の仕組みが大きく変わるわけではありません。これまでも共栄校区では、子どもたちが学校だけでなく地域や保護者の皆様に見守られて成長しています。これらの活動を学校運営協議会の皆様を中心に、さらにアップデートしていくことがコミュニティ・スクールになる意義だと私は考えます。第1回の本部会でも、「共栄地区の子どもたちのためにこんなことができないだろうか」という様々な意見がだされました。そんなアイデアを持続可能なかたちで取り組んでいけるといいです。



さっそく、6月24日(月)には、学校だけでなく保育園や学童、児童センター等にも声かけをして「発達障がい等の困り感をもつ子どもへの関わり方」について土岐総合病院の中野先生のお話を聞きます。さらに、例年3年生児童と担任だけで行っていたマリーゴールドの植え替えも、「一緒にできれそうな方に声をかけてみるよ」「委員も出てこられる人は一緒にやろう」ということになりました。

そんなアップデートを少しずつ進めていけるといいです。

